



Japan Meteorological Agency

気象庁東京管区気象台

Tokyo Regional Headquarters, JMA



気象庁マスコットキャラクター
「はれるん」

～ 守ります 人と 自然と この地球 ～

東京管区気象台は気象庁の管区機関の1つで、関東甲信越・東海・北陸（1都16県）を管轄しています。気象庁は、大雨や暴風、地震と津波、火山噴火などの自然現象を常時監視するとともに、気象、地震、津波、火山活動などに関する情報を発表しています。気象庁が発表する情報は、自然災害から国民の生命・財産を守るための防災気象情報のほか、交通の安全を支援する交通安全情報、農業、電力、観光など各種産業活動を支援する産業情報、国民の日常生活に役立つ生活情報、さらには人類の将来に警鐘を鳴らす地球温暖化など地球環境に関する情報などがあり、多方面で多様な役割を果たしています。

勤務地・転勤・昇任

技術系採用の場合、管轄内の地方気象台および航空地方気象台に配属になることが多いです。転勤は、2～3年毎に実施され、主に管内異動となりますが、本庁(東京)や全国の気象官署に転勤することもあります。昇進については、本人の能力と経験に応じて、係長・予報官・課長等に昇進していきます。なお、事務系採用の場合、管区気象台か気象庁本庁での採用となります。

職員数

約800名（技官：約710名、事務官約90名）
※令和5年4月1日現在

問合せ先

東京管区気象台 総務部総務課人事係
〒204-8501 東京都清瀬市中清戸3-235
Tel 042-497-7183
HP <https://www.data.jma.go.jp/tokyo/>

採用区分

国家一般職（大卒程度）

物理、デジタル・電気・電子、化学、土木、行政

国家一般職（高卒程度）

技術 関東甲信越地域、技術 東海北陸地域



先輩職員からのメッセージ

中部航空地方気象台で航空気象の観測業務を担当しています。主な業務内容として、目視で視程や雲の高さなどを観測し、気象観測測器から得られるデータと併せて管制官やパイロットなどに今の気象状況を迅速に提供しています。また、観測データの品質を保つため、風を測る風向風速計や雲の高さを測るシーロメーターをはじめとした観測測器の点検も定期的に行っています。特に、急な風の変化や雷などの気象現象は航空機の運航に大きな影響を与えるため、正確な気象情報をいち早く提供し航空機の安全な運航を支援していることに大きなやりがいを感じています。（令和2年度採用/中部航空地方気象台/技官（一般職（大卒）物理））

